



明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第71号 平成21年5月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



金華山地域 春の保全活動&幼稚園児の自然体験

- ・春いっぱい達の達目洞（4月18日）
- ・園児たちも春の達目洞を満喫（5月1日）

○春いっぱいの達目洞

4月18日（土）、今年度の達目洞の湿地保全活動が始まりました。この日は、「達目洞自然の会」の総会も併せて行われ、今年度の活動内容についても確認されました。今年も湿地保全のための稲作に頑張っており取り組んでいきます。

また、この日は、岐阜大学教育学部の学生も参加し、大人数で逆川の護岸の補修も行うことが出来ました。年々護岸に使っている竹が傷んできましたが、一部を補修することができました。

その他、神戸大学の角野先生のアドバイスに基づき、ヒメコウホネをはじめとした水生植物を元気に保つための間引きや、移植を行いました。今年も元気な花をたくさん咲かせてくれることを祈るばかりです。



達目洞自然の会 総会の様子



ヒキガエルの オタマジャクシが！



逆川の護岸補修を行いました



補修後の様子



枯草を集めて運びました

ヒメコウホネをはじめ、シャガ、コバノガマズミなど多くの植物が達目洞の春を彩っています！！



○園児たちも春の達目洞を満喫

5月1日（金）には、岐阜東幼稚園の幼稚園児が自然観察に来ました。春の達目洞には、美しい花もいっぱいありますが、その他にも様々な自然の姿が見られます。

タケノコを発見した園児がいました。大きく成長して食べられないと思っている大人とは違い、成長途中のタケノコを触って「ザラザラしている！」「これが竹になるの？」など、それぞれに感動があったようです。また別の所では、タラノキを発見して「すごく痛そう！！」「トゲトゲの木！」とビックリした様子で見っていました。そのトゲトゲの木の新芽の部分がとても美味しい山菜だと知ると、みんなビックリしていたようですが。

園児達にとっては、達目洞で見つけるものすべてが、感動に満ちた楽しい宝物だったようです。ヒメコウホネ以外にもたくさんの魅力があるのですね。

○おわりに

達目洞には毎年多くの子どもたちが、自然観察に訪れます。そして、子どもたちは本当に色々な達目洞の魅力や楽しみ方を見つけてくれます。それは、**大人なら何とも思わないようなものでも、子どもたちにとっては本当に大きな発見**として受け止めてもらえるのです。このような発見を楽しみにしてくれる子どもたちが、達目洞からどんどん育って欲しいですね。

子どもたちは宝物を見つける天才です！



大きくなったタケノコをみんなで触ったぞ。



タラノキのとげをじっと観察しています！！痛そうだなあ～

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html